



## 実習1

～アイスブレイク～

最初は全員で、後半はグループ毎に行いました。最初は硬かった参加者の表情が、全員で一緒に身体を動かしながらゲームを進める中で、徐々に柔らかくなっていきました。

やはり皆で一つの活動をともしるということは、自然と笑顔がうまれてくるもの。中盤の「楽しくなってきた人～?」の質問に対する参加者の反応は印象的でした。



## 講義3

～ボランティア活動の意義～

講義2の内容を踏まえ、「ボランティアの手による事業の企画」についてグループに分かれて議論をし、決められた条件の中で企画作りに挑戦しました。

赤城ボランティアスタッフ、東京福祉大学・大学院の学生も加わり、グループ毎に活発な意見交換が行われ、すばらしい企画が出来上がりました。出来上がった企画書はメイン会場内に掲示し、情報の共有化を図りました。



## 実習2

～野外炊事～

赤城の野外炊事関連施設や用具について学習した後、カレーづくり。

各グループともに、「チームクック」と「チーム火おこし」に分かれての実習。

実習1に引き続き、参加者同士のコミュニケーション・仲間づくりが活発かつ円滑に行われました。

美しい赤城の新緑の中、皆で食べたカレーの味は最高でした!!



## 情報交換会

テーマトークの形をとり、赤城ボランティアスタッフも一緒に参加し、提供できる情報(こんなボランティアやっています!!)と欲しい情報(こんなボランティアやってみたい!!)をお互いに積極的に交換しました。

最後に赤城のボランティアソング「ここであえるから」を全員で歌い、あっという間の一時間、大盛況のうちに終わりました。



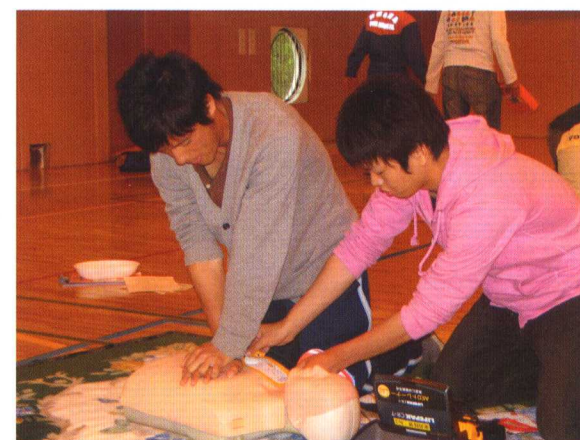
## 講義1

～青少年教育の理解～

『私が変わる社会も変わる』の演題で、当施設の企画指導専門職が講義をしました。

講師が学校現場に勤務していた時の体験談や、障害児教育・環境教育について等々、ワークショップを取り入れながらの講義でした。

参加者は興味深く話に耳を傾け、真剣に取り組んでいました。参加者のそれぞれに新しい発見があったようです。



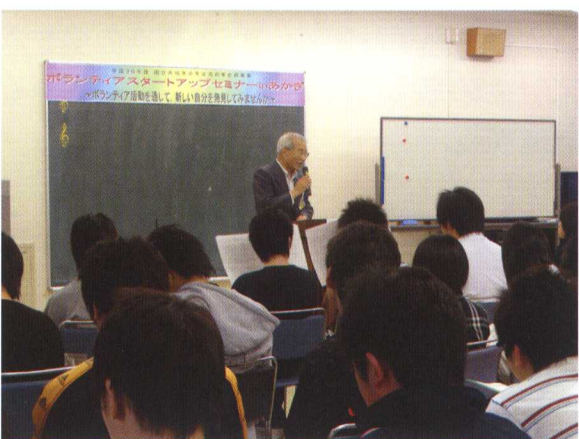
## 実習3

～救急救命法～

消防署職員の指導により、普通救命講習Ⅱに取り組みました。

人の心肺が停止してから死に至るまでの時間や、救急車の平均到着時間等について講義を受けた後、心肺蘇生とAEDの使い方について学びました。

実技の中では心臓マッサージや救急隊への伝達事項等について実習しました。生命尊重とボランティア活動との関わりについて理解を深めました。



## 講義2

～青少年教育施設の現状と理解～

東京福祉大学・大学院 社会福祉学部教授の矢端義直先生をお迎えし、青少年教育施設とは、ボランティア活動とは、またどのようなボランティア活動があるのか等々わかりやすく解説していただきました。

その後、東京福祉大学・大学院の現役学生とOBから、貴重な数々のボランティア体験談を聞くことができました。参加者はボランティア活動をよりいっそう身近なものとしてとらえることができました。



## 講義4

～施設におけるボランティア活動の理解～

赤城のボランティアの概略を紹介後、「あかぎポイントラリー」を行いました。ねらいは、ボランティアや職員と関わりながら、赤城の施設やボランティアの活動内容について理解を深めることでした。

また、ボランティアスタッフによる体験談や参加者と共に歌ったボランティアソングは、赤城ボランティアのボランティア活動に込める熱い思いを参加者に十分伝えることができました。